気候変動に適応した主要露地野菜の栽培体系確立

1　目　　的

近年の気候変動により従来の作期では，野菜の露地栽培が気候と合わなくなってきている。そこで，主要露地野菜品目について，現状の気候条件に適応する新しい作型，品種，栽培方法について検討する。

2　研究計画・試験方法等（その１）

1）作期変動への適応策

a　寒締めホウレンソウ
　播種時期の晩化と適応品種の検討

b　ゆきな
　播種時期の晩化と被覆資材の検討

c　キャベツ
　播種時期の晩化と適応品種の検討

d　たまねぎ
　直播栽培の播種適期と収量性の検討

e　ブロッコリー
　定植時期と適応品種の検討

f　エダマメ
　露地での早熟栽培と抑制栽培を組み合わせた二期作の検討

g　セリ
　高需要期出荷(12月)　のための定植晩限の検討

ちぢみゆきな

秋冬どりキャベツの定植晩限の検討

エダマメ早熟栽培の検討

タマネギの大規模生産のための直播栽培の検討

みやぎオリジナルセリ新品種を活用し，高需要期に向けた定植時期の検討

宮城県農業・園芸総合研究所　住所：宮城県名取市高舘川上字東金剛寺１番地
TEL：022-383-8118，FAX：022-383-9907
ＨＰ：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/

気候変動に適応した主要露地野菜の栽培体系確立

2　研究計画・試験方法等（その2）

2）生理的な障害への適応策

a　ブロッコリー花蕾障害
　障害発生の少ない品種の選定と定植日，マルチによる障害抑制効果の検討

b　ホウレンソウ初期生育不良
　夏作に適した遮光資材や品種の検討

c　レタスの抽苔抑制
　結球レタスの露地夏どりや秋どり栽培に適した品種の検討

ブロッコリー花蕾障害

高温障害

高温による不正形花蕾（左）と正常花蕾

雨よけホウレンソウ夏季高温回避のための
遮光資材の検討

夏どりの品種とレタス定植時期、マルチ資材の検討

地温抑制
有穴マルチ

宮城県農業・園芸総合研究所　住所：宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1番地
TEL：022-383-8118，FAX：022-383-9907
ＨＰ：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/